

平成23年度

香芝市学校教育の指導方針

学校教育の目標

香芝市の学校教育は、日本国憲法や教育基本法を踏まえ、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成に努める。

学校教育の具体目標

- (知) 自ら学び、自ら考える習慣を確立し、自主的で主体的な学習態度を培い、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる。
- (徳) 個人の尊厳を重んじ、真理と正義とを希求し、公共の精神を尊び、自と他の存在を認め合う心を育てる。
- (体) 規律ある生活習慣を身に付けるとともに、体力に応じた活動を奨励し、健康でたくましい心身を育てる。
- (情操) 生命を大切にする心、自然を愛する心、美しいものや崇高なものに感動する心を育てる。
- (人権) 人権や差別に対する正しい見方・考え方を培い、差別に立ち向かう意欲と実践力を育てる。
- (勤労) 勤労体験活動を通して、働くことの意義と喜びを感得し、正しい勤労観を培うとともに、社会でよりよく生きていくための力を育てる。
- (連帯) まわりとの人間関係のなかで、自他の敬愛の大切さと相互依存の重要性とを学び、社会連帯の意識や福祉・ボランティア精神を養うとともに、社会参加を通して豊かな心や感謝の心を育てる。
- (国際) 自国や郷土の自然と文化と歴史についての理解を深めるとともに、世界の国々の文化と民族の歴史などについての認識を高め、互いに尊重し合う態度を培う。
- (環境) 自然体験や社会体験等を通して、環境に対する人間の責任と役割を理解し、保全・改善・創出に主体的に働きかける態度を培う。

香芝市教育委員会

校種別指導の重点

《確かな学力の育成》

- 基礎・基本の充実をはかり、それらを活用する力を育む -

幼稚園 身近な環境に主体的、意欲的にかかわる態度を培い、驚きや発見する喜びを味わわせる。
感じたことや経験したことを表出し、話す、聞く活動を通して表現力を育成する。

小学校 個に応じた指導の充実とともに、児童の学習状況の把握に努め、基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるため、学習活動を工夫する。
各教科等において、記録、要約、説明、話し合いなどの言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。

中学校 個に応じた指導の充実とともに、小学校の学習内容を考慮しつつ、基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるため、学習活動を工夫する。
各教科等において、記録、要約、批評、論述などの言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。

《豊かな人間性の育成》

- 正しく判断し、行動する力を育む -

幼稚園 身近な人々との関わりを深め、愛情や信頼感、他の人を思いやる心を育む。
自然や身近な動植物に親しませ、生命を大切にすることを育む。
友だちと協働する楽しさや喜びを味わうと共に、きまりやルールの大切さに気付いたり、守ったりする態度を培う。

小学校 自分や他の人を理解し、生命を大切にすることや正義感、責任感を培い、実践力を育てる。
様々な体験を通して豊かな感性や情操を培い、基本的な生活習慣や社会生活上のルールを守る態度を身に付けさせる。

中学校 自分や他の人への理解を深め、様々な活動や経験を通して、生命を大切にすること、人権を尊重することや自律心、責任感、正義感を培い、実践力を育てる。
職場体験活動やボランティア活動などを通して、社会生活上のルールやマナーを身に付けさせ、社会参画しようとする態度を培う。

《たくましい心身の育成》

- 体力向上に向け、進んで運動に取り組む力を育む -

幼稚園 いろいろな遊びの中で十分に体を動かし、明るく伸び伸びと行動することを通して充実感や満足感を味わわせ、健やかな心と体づくりの基礎を育む。

小学校 運動遊びや一校一運動などを行うことにより、進んで運動を楽しもうとする態度を培い、いろいろな運動ができる力を育てる。
健康で安全な生活を送るための力を育てる。

中学校 運動部活動や様々な運動の体験を通して、意欲的に運動に取り組む態度を培い、運動を持続する力を育てる。
健康と安全についての理解を深め、自ら健康で安全な生活を送るための的確な判断力と実践力を育てる。

魅力と活力ある園・学校づくりのために

特色ある教育活動の展開

特色ある園・学校づくりの創意工夫とは、各園・学校の実態及び子どもたちの特性等を踏まえ、子どもたちが主体的創造的に活動できるよう教育課程を編成することである。その際、全教職員が園・学校教育目標を共通理解するとともに、家庭や地域社会との連携を深め、自己評価、学校関係者評価等を活用し、互いの教育機能を高めながら各園・学校の教育活動を進める。

特色ある教育課程の編成
学校評価の活用

確かな学力の育成のための指導方法の工夫・改善
体力向上の取り組み

教員の資質の向上

教員は、様々な研修の機会を生かし、幅広い視野を持って新しい課題を見つけ、それを解決していく資質・能力を身に付けることが求められる。そのためには自己申告評価制度を活用し、教職員としての自覚を高め、積極的に公開授業・研究授業を行い指導力の向上に努める。園・学校での取組の成果と課題及び課題解決に向けた取組や方策を組織的・計画的・継続的に明らかにし、組織力・学校力の強化に努める。

自己の意識改革

指導力の向上

園・学校の組織の強化

家庭・地域との連携・協力

教育の内容や活動の状況及び学校評価等の結果をさまざまな手法を用いて積極的な情報発信を進め、オープンスクールを開催するなどして、保護者や地域住民等の信頼を得るための工夫改善を図る。

学校評議員制度等を活用して、保護者や地域住民等の意向を把握して園・学校運営に反映させるなど、協力を得ることで開かれた学校づくりを進める。

学校と地域が連携する事業等を活用し、安心・安全な園・学校づくりや特色ある教育活動を推進し、放課後活動の支援のため、地域ぐるみで学校を支援する体制を構築する。

積極的な情報発信

学校評議員制度の活用

地域ぐるみの学校支援体制の構築

園・学校内外の安全確保の推進

オープンスクールの充実

《今日的な課題への対応》

規範意識を培う教育・道徳教育の充実

子どもたちが、基本的な生活習慣を身に付けたり、規範意識を培う教育の充実を図るとともに、主体的に判断し、適切に行動できる力を育てるために、道徳教育の充実を図る。

キャリア教育の充実

子どもたちが、肯定的な自己理解を深め、自己有用感を獲得するとともに、社会でよりよく生きていく力を身に付けるために、キャリア教育の充実を図る。

安全教育の充実

子どもたちが、災害や事故等から身を守る危険予測の能力と危険回避の力を身に付けるために、具体的で実践的な安全教育の充実を図る。

食育の充実

子どもたちが、生涯にわたり健康で生き生きと生活するためのよりよい食習慣と自己管理能力を育てるために、食育の充実を図る。

特別支援教育の充実

発達支援や特別支援を必要とする子どもたちの教育的ニーズを把握し、自立や社会参加に向けての能力をよりよく伸ばすために、適切な指導と支援の充実を図る。

読書活動の充実

子どもたちが豊かな感性や思考力・表現力・創造力を身に付けるために、主体的、意欲的に取り組める読書活動の充実を図る。

具体的な実践課題

創意工夫した授業（保育）の実践

各園・学校において、授業（保育）研究の積極的な開催や国・県の指定研究を進んで受けるとともに、教師自身が公開授業・研究授業を積極的に行い、授業（保育）改善に取り組む。（教師は授業で勝負と言われるように、授業は教師の生命線である。）

言語活動・基礎基本の充実

読み・書き・計算など、基礎基本の定着に取り組むとともに、言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力の育成に取り組む。

学習に対する姿勢（例えば、鉛筆の持ち方、椅子に座る姿勢等）・学ぶ意欲を大切にした指導に取り組む。

園・学校内外の安全確保の推進

園・学校内においては、不審者侵入訓練や防犯教室等の実施に努め、園・学校外においては、通学路等における「子ども見守り活動」などの安全指導の推進に努める。

学校評価の実施

学校関係者評価委員会（学校評議員・PTA役員等で構成）の開催並びに保護者や児童・生徒アンケートの実施などの学校評価に取り組み、評価内容を積極的に情報発信し、より開かれた園・学校づくりに努める。

校種間の連携

中学校区ごとの連携体制の確立に努め、幼小間や小中間の連携を密にして、それぞれの教育課題を見通した系統的な指導や学習を進めるように努める。

香芝市立学校教員信条

1. 幼児・児童・生徒や地域社会から信頼され敬愛される指導者になる。
2. 学校教育の各領域にわたって、調和のある指導に情熱をかたむける。
3. 幼児・児童・生徒の伸びゆく生命・人権を尊重し、健康と安全に万全を期す。
4. つねに教育の専門職であることを自覚し、教養を高めるとともに、一層指導力の向上に努める。
5. 幼児・児童・生徒の指導を一層充実するため、家庭・地域社会との連携を積極的にすすめる。